

技術支援成果事例

めまい診療用眼球運動検査装置（yVOG）に係る 頭位角度情報解析機能（頭位センサープログラム）の開発・事業化

■支援の概要

赤外線カメラを内蔵した眼鏡型の眼球運動検査装置において、検査中に頭位の位置をリアルタイムに計測する機能を開発・製品化しました。

■医療機器の概要

対象疾患：良性発作性頭位めまい症、原因：内耳の前庭にある耳石が剥がれ三半規管に入る
症状：回転性のめまい（目がぐるぐるまわる）、一時的な吐き気・嘔吐・難聴
検査方法：眼球運動を画像解析（縦方向・横方向・回旋（回転））、保険点数300点

■支援の項目

- ①医療機器メーカーと計測機能に関する仕様検討
- ②多軸加速度センサ信号解析方法に関する協議
- ③製品化に向けた進捗管理



・商品名（商標登録済）

「yVOG」（ソフトウェア）
「yVOG-Glass」（ハードウェア一式）

・一般名称

眼球運動検査装置用プログラム
眼球運動検査装置（クラスⅡ：管理医療機器）

・特徴（検査項目）

赤外線カメラから得られた眼球の映像を画像処理することにより眼球運動の検査をする。
x-y軸運動の解析、回旋の解析
眼球運動と同期して頭位を自動計測



■支援の成果

- 眼球運動と同期して頭位をリアルタイムに測定できるため正確な診断が容易になりました。
- 眼球運動とその時の頭位を同時に記録できることから、臨床研究用のデータとしての価値が向上しました。
- 既に発売しているyVOG、yVOG-Glassに機能追加する形で平成30年3月に販売を開始しました。

担当職員 イノベーション推進センター
医療関連推進チーム

支援企業：株式会社YOODS（山口市）
第一医科株式会社（東京都）
山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学